

回 答 書

受付番号	回収年月日	回収場所	担当主管課
第 14 号	平成 25 年 7 月 1 日	中山地域事務所	産業建設部農業振興課
題 目 (テーマ) : 花栗「サレヤロマン」のトップセールスについて			
提 案 内 容 (要 旨)			
<p>佐礼谷地域づくりについて、格段の御高配と御支援を賜り深く感謝申し上げます。</p> <p>さて、佐礼谷村は、昭和の大合併で取り残されることを危惧して、昭和39年に佐礼谷振興会を発足し、近隣市町村に先駆けて上下水道等住環境整備を致しました。しかし、時代の流れとは言え、平成の大合併・TPP等につぶされそうになっています。</p> <p>佐礼谷地域の生き残れる方策は、お金の支援ではなく農業の振興です。</p> <p>佐礼谷振興会が取り組んだ『知的財産権で競争力に強い栗産地づくりゼロ予算事業』に中山町が協力していました。</p> <p>伊予市との合併後は、伊予農業指導班が窓口となって愛媛県中予地方局産業振興課、えひめブランド推進課、東京大田花市場の(株)フラワーオークションジャパンの高度な専門知識(育種・生産・販売)に基づいた産地づくりの指導をいただいているところでございます。</p> <p>つきましては、大変厳しい市財政事情とは存じますが、佐礼谷地域の实情や栽培状況を御賢察いただきまして、花栗『サレヤロマン』のトップセールスに格段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。</p>			
回 答 内 容			
<p>貴殿におかれましては、日頃より本市行政各般にわたり、ご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。</p> <p>また、去る7月22日に実施させて頂きました現地調査では、適切なお案内とご説明を頂き重ねてお礼を申し上げます。</p> <p>さて、今回の花栗「サレヤロマン」に対するトップセールスのご提案ですが、貴殿におかれましては、県伊予農業指導班等の協力を得て、既に「サレヤロマン」の商標登録申請によるブランド化を行い、(株)フラワーオークションジャパン(略称FAJ)との契約栽培による販売戦略のもと、一定の成果が達成されておられるものと考えております。</p> <p>このことは、貴殿が高い見識と行動力を以って、日々積極的な外交販売を重ねてこられた結果であると敬服いたしております。</p> <p>しかしながら、本市が推進しております施策への影響や公僕という観点等から検討いたしました結果、トップセールスを行うことにつきましては、“次の懸念事項が解消され、佐礼谷地域の活性化に貢献することの明確化が不可欠”という結論となりましたので、主旨ご理解の上、ご了承を賜りますようお願い申し上げます。</p>			

【懸念事項】

- 不足しているF A Jの要求出荷量を満たすとともに、トップセールス後の生産量拡大に対する体制整備が不明確で、需要に対応できないおそれがあること。
- F A Jの専売希望であり、トップセールス先が限定されること。
- 「住民自治されだに」や地域住民との連携が乏しいこと。
- 「佐礼谷振興会」や「中山町栗生産組合」の活動実績が不明確であること。
- 本市の施策である「産地化や人づくり」に貢献する人的構想の具体性が乏しいこと。